

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	08	124330	国際都市推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	3	国際都市の推進			
目的	花巻市の国際都市化を推進する。					
対象	海外の人々、市民					
意図	海外の人々と市民の相互理解促進を図り、花巻市への来訪、定住をはかる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 国際都市推進員の雇用 <input type="checkbox"/> 公益財団法人花巻国際交流協会事業補助 ・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座） ・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援） ・国際交流情報提供事業、国際交流関係団体活動支援事業 ・国際フェアINはなまき等 <input type="checkbox"/> 国際交流センター運営 <input type="checkbox"/> 団体への負担金 岩手県日壇協会会費 JICAボランティアを支援するいわての会負担金						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援・協賛		<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成		
				<input type="checkbox"/> 事業協力・協定 <input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 情報発信回数	回		計画	50	50	
			実績	55	55	
② 小・中学校等での会話指導	回		計画	10	10	
			実績	8	16	
③ 公共施設等の多言語表示等	回		計画	5	5	
			実績	5	2	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 交流会・講座等参加者数	人		目標	1,400	1,400	
			実績	1,179	1,515	
② 外国人観光客入込客数（市内）	人		目標	12,000	22,000	
			実績	19,920	23,012	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・多文化サロン・市民語学講座は、前年度並みの参加者数となり、国際フェアインはなまきについても、参加者が増加したことから、今後も参加者増に向け、早期の情報発信やイベント内容を検討する。 ・外国人入込客数については、主に台湾、中国、韓国からの客数が増加となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市として、海外へ情報発信することや、国際交流団体への支援は、国際都市化を推進するうえで妥当な事業である。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・国際交流協会が実施している各種講座等は、講座内容等の見直しや工夫の余地がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・国際都市推進員は、非常勤職員として雇用しており削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・国際都市推進員の雇用により海外への情報発信が推進され、花巻市への来訪者の増加が期待できることから、市民の受益と負担は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・国際都市推進員により、外国人の目線で見えた「花巻」を情報発信しており、外国人に受け入れられやすい情報を発信することができた。 ・海外の情報をいち早く取り入れ、また、花巻の情報を的確に発信していくために国際都市推進員の雇用は欠かすことができない。 ・市民は、海外の文化や言語についての知識を国際都市推進員によって得られ、国際理解を深める機会とすることができた。 ・市の国際都市化を推進するため、国際交流協会事業を支援した。 ・国際交流センターをより効果的に運営していただくため、国際交流協会へ委託した。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	02	01	08	124330	国際都市推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		17,159	15,481		△ 1,678
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	58	99		41
	一般財源	17,101	15,382		△ 1,719

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

外国人の定住促進、交流人口の増加を図るため、様々な環境整備と海外への情報発信を行い、花巻市の国際化を推進しようとするもの。

事業概要

- 国際都市推進員の雇用
- 公益財団法人花巻国際交流協会事業補助
 - ・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座）
 - ・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援）
 - ・国際交流情報提供事業、国際交流関係団体活動支援事業
 - ・国際フェアINはなまき等
- 国際交流センター運営
- 団体への負担金
 - 岩手県日唄協会会費
 - JICAボランティアを支援するいわての会負担金

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

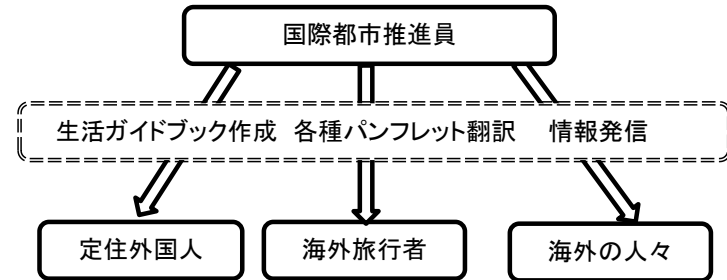
・多文化サロン、市民講座、国際フェア等のイベントを継続的に開催し、市民や海外への情報を発信しながら、国際交流事業の推進を図っていく。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習交流課 担当 牛崎 充人 内線 407

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 国際都市推進員の雇用 3,074千円
 - (1) 報酬 2,213 国際都市推進員1名
 - (2) 共済費 323 同上
 - (3) 報償費 57 海外からの来客への土産
 - (4) 旅費 30 外国コミュニティ全国会議（東京）
 - (5) 需用費 39 消耗品費
 - (6) 役務費 412 筆耕翻訳料



- 2 国際交流センター運営委託 9,900千円
 - 委託先：（公財）国際交流協会
 - 場 所：花巻市交流会館
 - 人件費4人分9,229、事務費671（車両借上、通信運搬費等）
- 3 花巻国際交流協会事業補助金 2,417千円
 - (1) 国際理解推進事業 202 多文化サロン、市民語学講座など
 - (2) 定住外国人支援事業 113 日本語講座、日本文化体験講座、防災講座など
 - (3) 国際交流情報提供事 308 姉妹都市との通信料等
 - (4) 国際交流団体活動支援事業 400 団体育成費（50×2団体） 姉妹都市交流事業（100×3団体）
 - (5) 国際フェアINはなまき 928 11月下旬開催
コンサート、団体活動展示、世界の料理コーナーなど
 - (6) 管理事務費 603
2,554 - 講座受講料36 - 会費100 - 利子1 = 2,417
- 4 国際交流団体等への負担金 90千円
 - 岩手県日唄協会会費 80
 - JICAボランティアを支援するいわての会負担金 10千円